

平成18年度 バランスシート等財務諸表

1	普通会計バランスシート・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	普通会計行政コスト計算書・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	千葉県全体のバランスシート・・・・・・・・・・・・・・・・	6
4	連結バランスシート・・・・・・・・・・・・・・・・	7
5	施設別バランスシート・行政コスト計算書 (さわやかちば県民プラザ)・・・・・・・・	9
	資 料・・・・・・・・・・・・・・・・	11

千葉県

I 普通会計バランスシート

県が経営資源として保有している資産の状況と、その資産を形成するために用いた財源の内容を示したものです。（→詳細は資料11ページ）

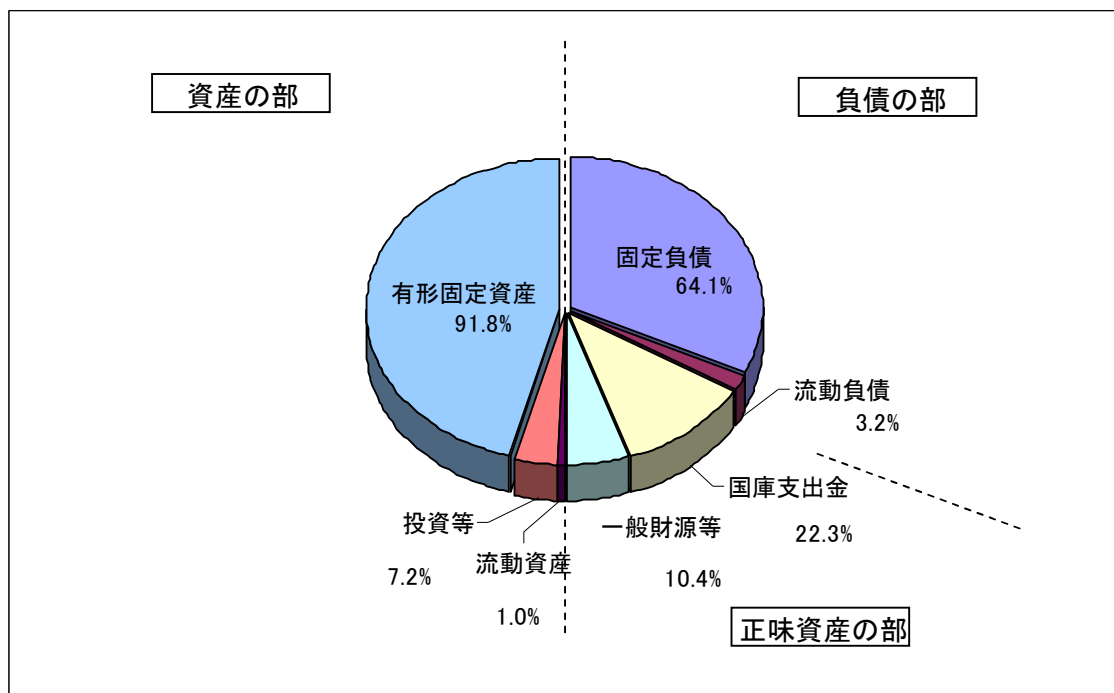
【普通会計バランスシート】

（平成19年3月31日現在）

（単位：億円）

借 方	貸 方
〔資産の部〕	〔負債の部〕
1 有形固定資産 40,487 （県が整備した道路、公園、学校など）	1 固定負債 28,265 （地方債など）
2 投資等 3,163 （投資及び出資金、貸付金、基金など）	2 流動負債 1,425 （地方債のうち翌年度償還予定額など）
3 流動資産 426 （現金・預金など）	負債合計 29,690
	〔正味資産の部〕
	1 国庫支出金 9,823
	2 一般財源等 4,563
	正味資産合計 14,386
資産合計 44,076	負債・正味資産合計 44,076

（資産、負債・正味資産の構成割合）

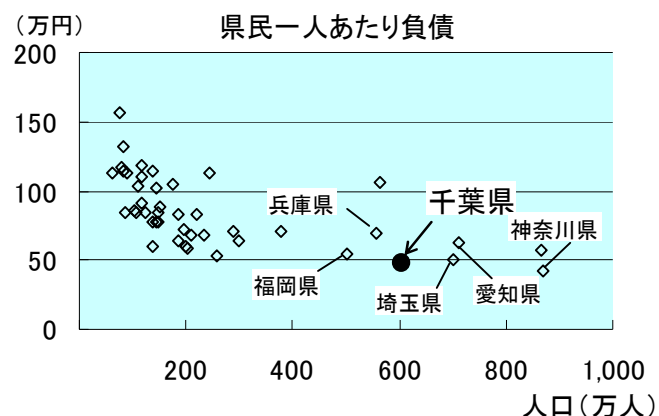
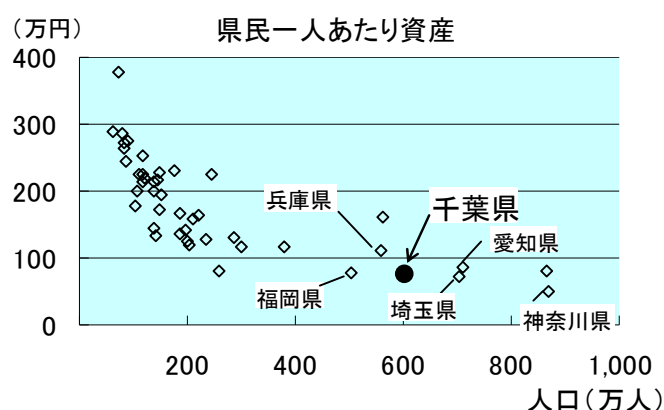


- ・資産総額は4兆4,076億円で、その92%を有形固定資産が占めています。
- ・資産形成に要した資金のうち、地方債のように将来世代に負担を求める負債は2兆9,690億円で67%を占め、国庫支出金や一般財源などで形成している正味資産は1兆4,386億円で33%を占めています。
- ・前年度末のバランスシートと比較すると、
 - ①資産については、投資的経費の抑制が続く一方、有形固定資産の減価償却が進んだため、昨年度に引き続き減少し、2.1%の減となりました。
 - ②負債については、18年度における退職手当制度の改正による支給率カーブのフラット化及び職員の経験年数が上がったことによる退職給与引当金の増により、3.6%の増となりました。
 - ③正味資産については、(資産－負債)で計算されるものであり、資産が減少する一方、負債が増となったことにより、12.0%の減となりました。

【県民1人当たりバランスシート】

年度	資 産		負 債	
	千葉県	全国平均	千葉県	全国平均
17年度	74万6千円	176万9千円	47万5千円	84万5千円
18年度	72万8千円	—	49万円	—

（全国平均は、総務省方式を採用してバランスシートを作成・公表している団体の単純平均です。）



- ・人口の多い道府県ほど資産・負債とも低い値となる傾向があります。
- ・千葉県は資産、負債ともに全国で最も低い水準にあります。

Ⅱ 普通会計行政コスト計算書

現金主義による決算に加えて、減価償却費や退職給与引当金繰入など、発生主義に基づく非現金コストを含めた地方公共団体の年間活動実態を明らかにするものです。

(→詳細は資料14ページ)

(1) 性質別行政コスト及び収入項目の状況

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

[行政コスト]

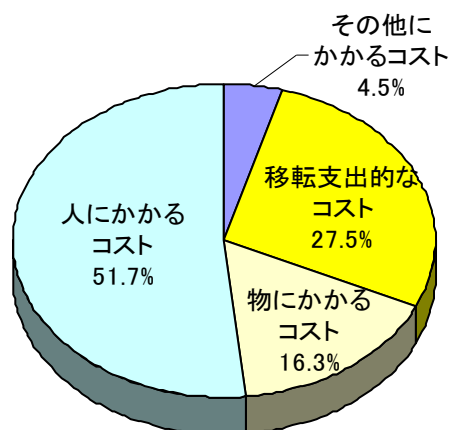
(単位：億円、%)

区 分	金 額	構成比
1 人にかかるコスト (人件費など)	7,070	51.7
2 物にかかるコスト (維持補修費、減価償却費など)	2,235	16.3
3 移転支出的なコスト (補助金など)	3,755	27.5
4 その他にかかるコスト (公債費のうち利子分など)	620	4.5
合 計	13,680	100.0

[収入項目]

使用料・手数料等	728	5.3
国庫支出金	1,255	9.2
一般財源等	9,463	69.2

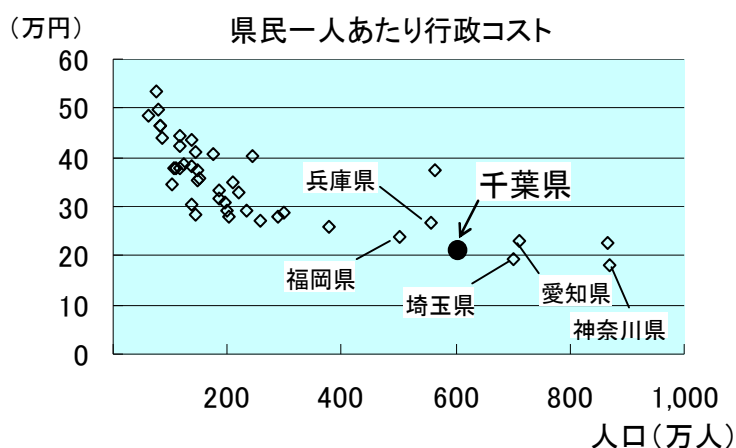
<行政コストの構成比（性質別）>



- ・「人にかかるコスト」が 51.7%と大きな割合を占めており、前年度と比較すると、制度改革等による退職給与引当金繰入の増により、13.1%の増となっています。
- ・「物にかかるコスト」については、内部管理経費の節減などの行財政改革の取り組みにより、2.1%の減となっています。
- ・「移転支出的なコスト」については、三位一体改革による国保県財政調整交付金の増等により、0.9%の増となっています。
- ・この結果、行政コスト全体では、7.3%増の 1 兆 3,680 億円となっています。

【県民 1 人当り行政コスト】

性 質 別	17 年 度		18 年 度		全 国 平 均 (17 年 度)
人にかかるコスト	10万3千円	(49.1%)	11万7千円	(51.7%)	13万2千円 (38.3%)
物にかかるコスト	3万8千円	(17.9%)	3万7千円	(16.3%)	9万5千円 (27.5%)
移転支出的なコスト	6万2千円	(29.2%)	6万2千円	(27.5%)	9万7千円 (28.1%)
その他のコスト	8千円	(3.8%)	1万円	(4.5%)	2万1千円 (6.1%)
行政コスト合計	21万1千円	(100%)	22万6千円	(100%)	34万5千円 (100%)



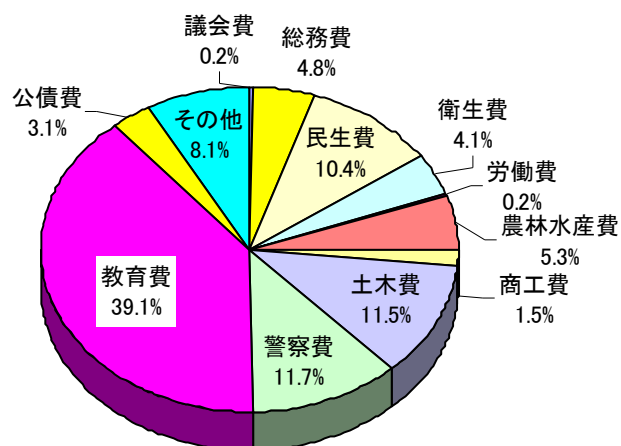
- ・人口の多い道府県ほど低い値となる傾向があります。
- ・千葉県は全国平均に比べ低い水準にあります。

(2) 目的別行政コストの状況 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：億円、%)

区 分	金 額	構成比
議 会 費	32	0.2
総 務 費	651	4.8
民 生 費	1,420	10.4
衛 生 費	561	4.1
労 働 費	34	0.2
農林水産費	729	5.3
商 工 費	203	1.5
土 木 費	1,572	11.5
警 察 費	1,597	11.7
教 育 費	5,353	39.1
災害復旧費	26	0.2
公 債 費	423	3.1
税 交 付 金	898	6.6
不納欠損金	181	1.3
合 計	13,680	100.0

<行政コストの構成比（目的別）>



- ・ 目的別では、教育費が5,353億円と39.1%を占めており、これに警察費、土木費、民生費が続いています。

Ⅲ 千葉県全体のバランスシート

普通会計バランスシートに病院局、水道局や企業庁といった公営企業会計等を加え、県全体の資産、負債等の状況を示したものです。

千葉県の場合、普通会計に以下の8つの特別会計を加えています。

(→詳細は資料17ページ)

港湾整備事業会計、流域下水道事業会計、土地区画整理事業（想定企業）会計、公営競技事業会計、県立病院（病院事業会計）、水道局（上水道事業会計）、企業庁（土地造成整備事業会計・工業用水道事業会計）

注）想定企業会計とは、一般会計で経理されているものの、決算分析上、普通会計から分離する必要があるため、現実には存在しませんが、想定して設置される特別会計です。

【千葉県全体のバランスシート】

(平成19年3月31日現在)

(単位：億円)

借 方		貸 方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
1 有形固定資産	61,536	1 固定負債	34,819
2 投資等	4,275	2 流動負債	6,539
3 流動資産	2,152	負債合計	41,358
4 繰延勘定	10	〔正味資産の部〕	
		正味資産合計	26,615
資産合計	67,973	負債・正味資産合計	67,973

※ 会計間の入り繰りを調整した後の数値です。

- ・ 県全体の資産総額は6兆7,973億円で、そのほとんどが土地や建物といった有形固定資産です。
- ・ 県全体の地方債等の固定負債は3兆4,819億円で、資産形成に要した経費の51.2%を占め、また、流動負債を合わせた負債全体では60.8%を占めています。

Ⅳ 連結バランスシート

昨年度に引き続き、県と連携協力して行政サービスを実施している一部事務組合・地方三公社及び第三セクターを加えた連結バランスシート（試案）を作成しました。

（→詳細は資料19ページ）

【千葉県の連結バランスシート】

（平成19年3月31日現在）

（単位：億円）

借 方		貸 方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
1 有形固定資産	62,544	1 固定負債	36,323
2 投資等	5,287	2 流動負債	6,675
3 流動資産	2,950	負債合計	42,998
4 繰延勘定	10	〔資産・負債差額の部〕	
		資産・負債差額合計	27,793
資産合計	70,791	負債及び資産・負債差額合計	70,791

(1) 作成の基準

総務省の「地方公共団体のバランスシートの試行について」（平成17年9月）で示された基準に基づいて作成しました。

(2) 連結の範囲

連結の範囲は本県を構成団体とする一部事務組合、本県が設立した地方三公社、及び本県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している民法法人（これに準ずるものを含む）とし、具体的には以下の24団体としています。

名 称	資本金等 (百万円)	出資割合 (%)	業 務 の 内 容
【一部事務組合】			
千葉県競馬組合	—	—	競馬競技（船橋競馬場）
北千葉広域水道企業団	—	—	水道用水供給事業
君津広域水道企業団	—	—	水道用水供給事業
【地方三公社】			
千葉県土地開発公社	10	100.0	公有地の取得造成、処分等
千葉県道路公社	17,702	87.9	有料道路の建設、管理等
千葉県住宅供給公社	10	100.0	住宅供給、宅地分譲

名 称	資本金等 (百万円)	出資割合 (%)	業 務 の 内 容
【出資法人】			
(財)千葉県史料研究財団	300	100.0	史資料の調査研究及びその成果の公表
(財)千葉県消防協会	109	55.0	消防職員・団員の資質向上等
(財)千葉県文化振興財団	574	52.3	文化会館管理運営、各種文化事業等
(財)ちば国際コンベンションビューロー	2,135	60.9	コンベンション誘致・開催支援等
(財)かずさディー・エヌ・エー研究所	4,818	77.8	DNA構造の解析研究等
(社福)千葉県社会福祉事業団	10	100.0	袖ヶ浦福祉センター等の管理運営
(社福)千葉県身体障害者福祉事業団	10	100.0	千葉リハビリセンター等の管理運営
(財)千葉県青少年女性協会	1	100.0	県民会議事業、女性センター運営事業
(財)千葉県動物保護管理協会	280	50.0	動物保護管理施設業務の受託
(財)千葉県産業振興センター	964	54.0	産業振興に係る総合的支援等
(財)千葉県観光公社	1	100.0	観光レクリエーション施設の管理運営等
(財)千葉県漁業振興基金	14,103	52.3	漁場環境の維持保全、漁業振興等
(財)千葉県水産振興公社	200	100.0	水産動植物の生産・育成・放流等
(財)千葉県建設技術センター	316	63.2	土木工事設計積算、建設材料試験等
(財)千葉県まちづくり公社	23	100.0	都市計画、県営住宅・公園等管理等
(財)千葉県下水道公社	367	54.5	下水道施設管理・建設等
(財)千葉県教育振興財団	3	100.0	埋蔵文化財の調査研究
(財)千葉県暴力団追放県民会議	627	63.8	暴力団追放研修事業等

注１）（財）は財団法人を、（社福）は社会福祉法人を表しています。

２）一部事務組合については、経費負担割合（競馬組合13分の8、北千葉広域水道企業団42.7%、君津広域水道企業団29.2%）で比例連結を行っています。

（３）資産、負債の状況

- ・連結後の資産総額は7兆791億円、負債総額は4兆2,998億円で、資産が負債を2兆7,793億円上回っています。
- ・資産の大半は県全体のバランスシートと同様に有形固定資産（6兆2,544億円）となっています。
- ・負債のほとんどは県の地方債残高となっています。

V 施設別バランスシート・行政コスト計算書

県が設置した公の施設について、収入・支出の状況を県民にわかりやすく説明するとともに、施設の経営状況の把握を行うため、平成18年度はさわかちば県民プラザをモデルに施設別のバランスシート・行政コスト計算書を作成しました。

(→詳細は資料25ページ)

【さわかちば県民プラザのバランスシート】

(平成19年3月31日現在)

(単位：百万円)

借 方	貸 方
〔資産の部〕	〔負債の部〕
有形固定資産 18,893	固定負債 10,272
	流動負債 602
	〔正味資産の部〕
	資産－負債 8,019
資産合計 18,893	負債・正味資産合計 18,893

資産・有形固定資産：土地、建物等の保有資産額

負債・固定負債：地方債の借入残額、退職給与引当金など

・流動負債：地方債の翌年度償還予定額（元金）など

【さわかちば県民プラザの行政コスト計算書】

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

区 分	金 額	構成比(%)
1 人にかかるコスト	222,739千円	23.3
2 物にかかるコスト	505,945千円	53.0
3 その他にかかるコスト	226,488千円	23.7
行政コスト a	955,172千円	100.0
減価償却費・公債費を除く行政コスト b	481,053千円	50.4
財源 利用料収入等	77,962千円	8.2
内訳 一般財源	877,210千円	91.8

利用者数 ①	394,389人
利用者1人当たりにかかるコスト (a/①)	2,422円
うち施設維持管理費 (b/①)	1,220円

- ・利用者1人当たりにかかるコスト（2,422円）は、昨年度までに試算した施設（関宿城博物館、国際総合水泳場、生涯大学校、県立文化会館）のうち、利用者の多い関宿城博物館（2,123円）、国際水泳場（2,890円）、県立文化会館（2,504円）とほぼ同額となっていることがわかります。
- ・利用者1人当たりにかかる行政コストのうち利用料収入等で賄っているのは8.2%で、残りの91.8%を一般財源で賄っています。

（参考）さわやかちば県民プラザの概要

〔設置目的〕

県民の生涯学習の振興及び芸術その他の文化の振興に資することを目的とし、生涯学習に係る活動及び芸術その他の文化に係る活動のための施設の提供並びに情報の提供、講座・研修会等の開催等、生涯学習活動に関する各種の事業を行う。

〔所在地等〕

所 在 地	開所年月日
柏市柏の葉 4-3-1	平成8年11月15日

〔管理運営方法〕

直 営